設置後の確認/トッププレートのシーリング

■必ずトッププレート周囲をシーリングする前に確認する　✓印

項目	確認内容	✓印
付属部品の取付け	●テーブルタイプはフィルターを付ける　●キッチンタイプはフィルターを外す	
外観	●トッププレートが汚れていないこと　●トッププレートが浮いていないこと	
電気工事	〈KZ-F12B・F12BL〉単相200Vになっていること ※単相100Vでは、電源スイッチを入れたときに異常表示をします。 保温1 2 3 4 5 6 7（保温～火力3が順次点灯） ➡ 単相200Vに接続しても表示が消えない場合は故障です。 〈KZ-F11B〉単相100Vになっていること	
	アースが設置されていること	
	漏電遮断器が設置されていること	
配線処理	電源コード・操作部コードが固定されていること	
作動	**1** 電源スイッチを入れる ➡ 電源ランプが点灯する	
	2 加熱切/入を押し、作動を確認する ●必ず水を入れ、IHに対応した鉄鍋などを置く。(空だきしない) ※鍋を置かないと「鍋なし自動OFF」が働いて約1分後に自動的に通電を停止します。 ※揚げ物切/入で操作した場合、次のようになることがありますが、異常ではありません。 ●鍋が熱くなるまで時間がかかる ●「火力3と6」が交互に点滅し通電を停止する ➡ しばらくすると湯が沸く 表示の点滅は再度揚げ物切/入を押すと消えます。	

●電気試験後は、必ず電源スイッチを「切」にしてください。
●取扱説明書・設置説明書・プリセット操作ガイド・保証書は、必ずお客様にお渡しください。

設置完了確認者印

■トッププレートをシーリングする

●作動確認後、天板とトッププレートのすき間を埋めるためにシリコン系シーリング剤（コニシボンドのシリコークなど）でシーリングしてください。

パナソニック株式会社　IHクッキングヒータービジネスユニット
〒651-2271　神戸市西区高塚台1丁目5番1号

ZY16-6051
S0908I1108

設置説明書
IHクッキングヒーター

Panasonic

品番 KZ-F12B
KZ-F12BL
(200V)
KZ-F11B
(100V)

設置される方へ

●品番をよくご確認のうえ、設置してください。
●試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。
●ガス機器から付け替える場合

ガス事業者に連絡しないでガス工作物（ガス配管、ガスメーター、ガス栓など）を無断で撤去することは、法令により規制されています。

事前にガス事業者へ連絡してください。また、閉栓はガス事業者に依頼してください。
●キッチンの下部にオーブンレンジを設置しないでください。
●設置説明書に従わなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。

操作部コードの長さは
KZ-F11B/F12B ……0.8m
KZ-F12BL ………………2m

もくじ

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、区分して説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

⚠警告

●設置は、「設置説明書」に従って確実に行う
設置に不備があると、漏電・火災の原因。

●電気配線工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う
接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因。

●漏電遮断器を設置する

●専用回路を設置する
〈KZ-F12B・F12BL〉200V・15A以上
〈KZ-F11B〉100V・15A以上
この工事をしないと、配線部が異常発熱する原因。

●アース工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う

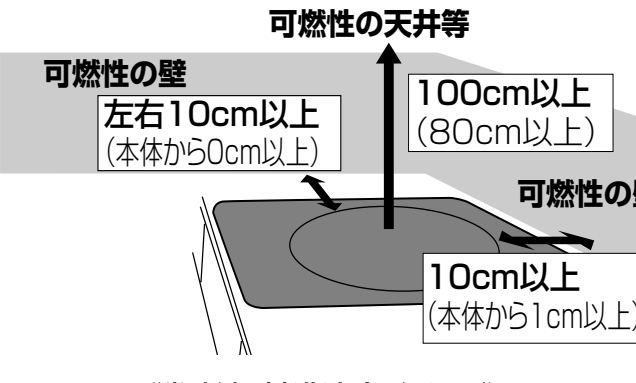
●アースを確実に取り付ける
漏電すると、感電の原因。

●絶対に分解・修理・改造は行わない
火災・感電・けがの原因。
・トッププレートや操作部ユニットの分解、電源コードの直付けなど

●トッププレートに衝撃を加えない
上に乗ったり、物を落とさない
万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因。

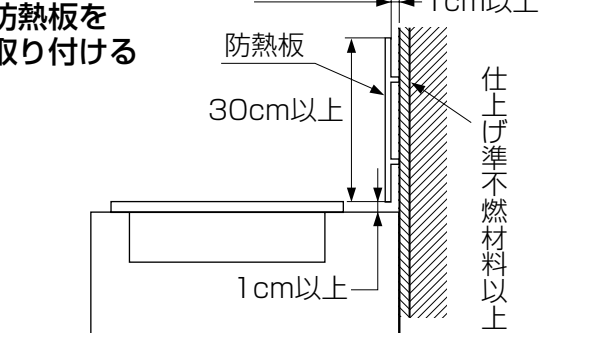
●試運転中は、トッププレートなど高温部に触れない
やけどの原因。

⚠注意

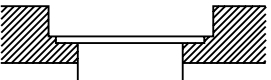
天板は、耐熱材料を使う
メラミン化粧板（JIS K 6903）またはこれと同等以上の物
耐熱性の低い材料は、火災・変形の原因。
※ニス引きのものは変色するため使わない。

設置の前に

設置場所の確認

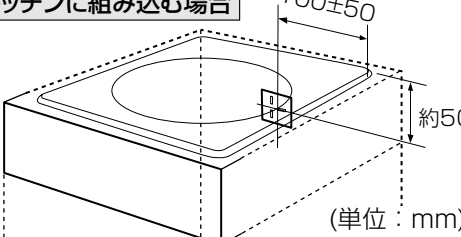
火災予防条例、電気設備に関する技術基準を定める省令第59条に従って設置してください。

■周囲が可燃性の壁（防火構造壁以外）の場合

●天板よりトッププレートを落とし込む場合も同様に対応してください。

■可燃性の壁から左記の距離を離せない場合

●本体の側面に取り付ける場合も、上記と同じ距離を設けてください。

●キッチンの金属部が、建造物の壁中の金属（メタルラスなど）に触れないようにしてください。
（電気設備技術基準第167条で危害なきよう設置することが定められています。）

専用回路・漏電遮断器の設置

		KZ-F12B/F12BL	KZ-F11B
専用回路		単相 200V・15A（ブレーカー付き）	単相100V・15A（ブレーカー付き）
屋内配線用電線	埋込型コンセント	単線直径 2.0mm	
	露出型コンセント	単線直径 2.0mm より線の場合……2mm² または 3.5mm²	
漏電遮断器	推奨漏電遮断器（パナソニック電工製）	品番:BJS2022N 定格電流:20A 感度電流:15mA	品番:BJS2021N または BJS2022N 定格電流:20A 感度電流:15mA

●三相200V（動力電源）は使わない。（故障の原因）

コンセントの設置

■D種接地工事を必ず行う（コンセントの一極接地用に配線する）

	KZ-F12B/F12BL	KZ-F11B
推奨コンセントの種類（パナソニック電工製）	品番:WK3012（露出型） WN1112K（埋込型） 定格:単相250V・15A (接地2P)	品番:WKS214（露出型） :WN1101（埋込型） 定格:単相125V・15A アース付き(接地2P)

●電源コードがよじれたり、負担がかからないようにコンセントの向きに注意してください。

外形寸法図

■本体寸法図（単位：mm）

●イラストはフィルターが付いた状態のものです。

平面図

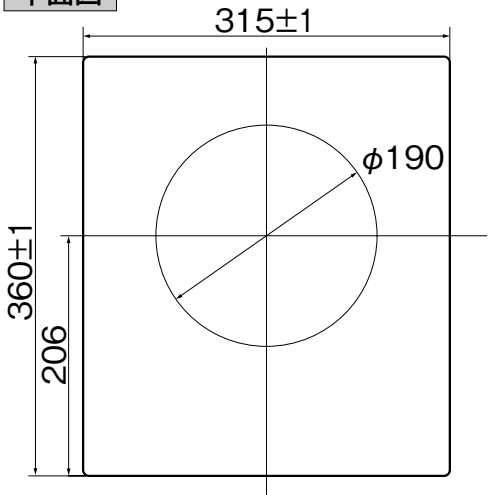
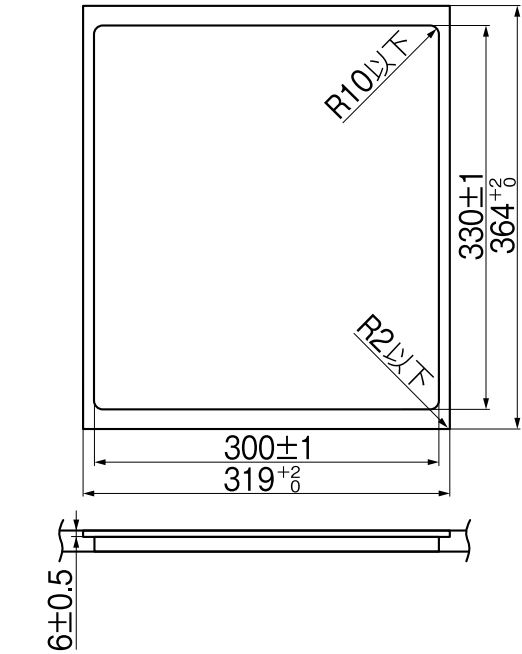
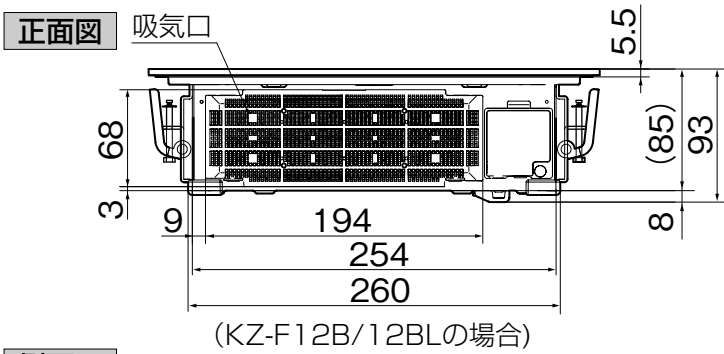
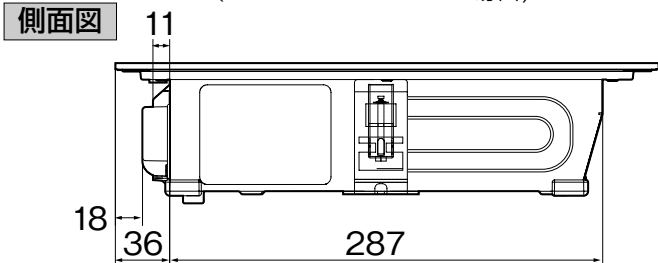
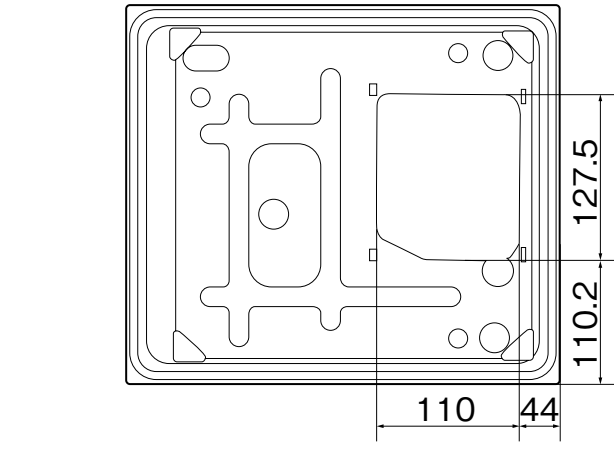
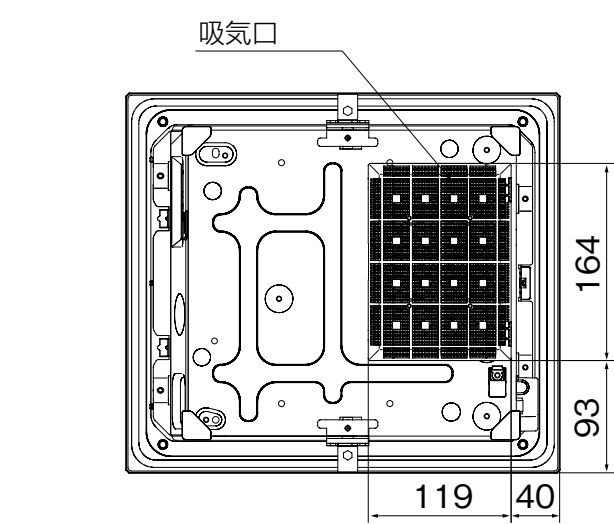
底面図

（KZ-F12B/12BLの場合）

天板開口穴

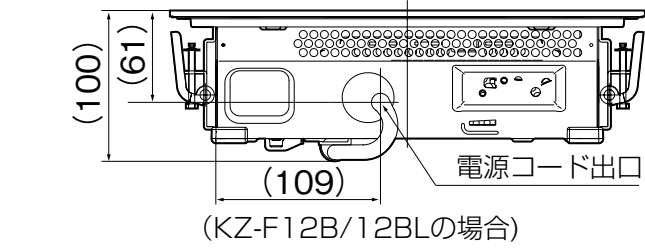
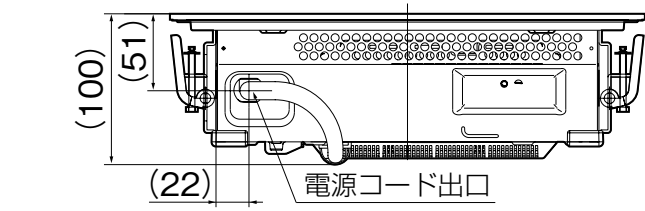
（KZ-F11Bの場合）

正面図

吸気口 5.5 68 3 (85) 93 8 9 194 254 260

（KZ-F12B/12BLの場合）

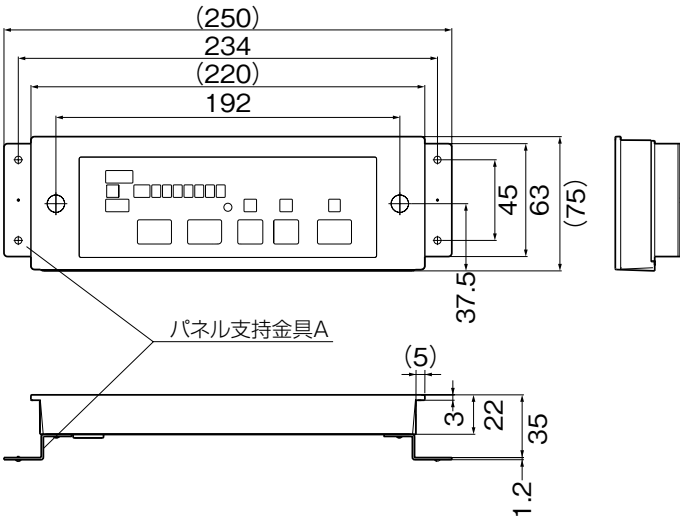
背面図

（KZ-F12B/12BLの場合）

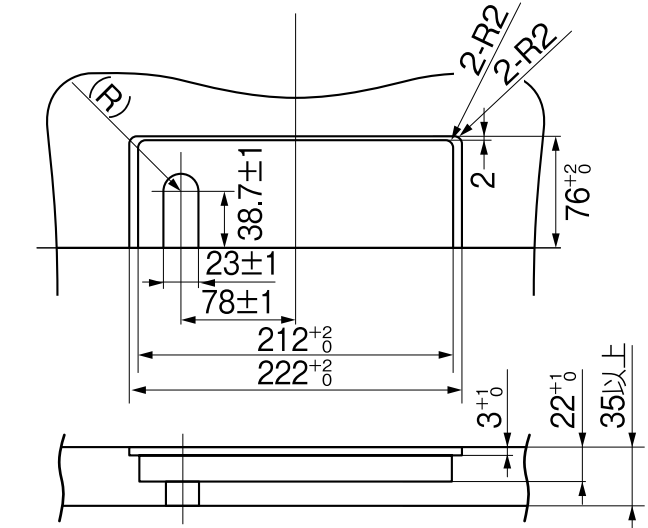
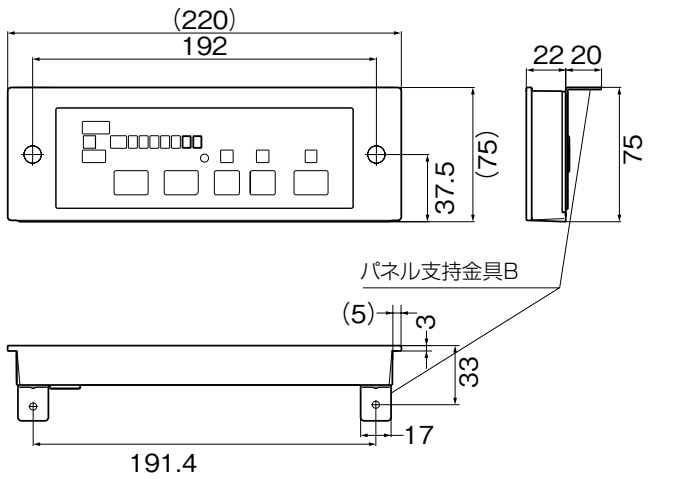
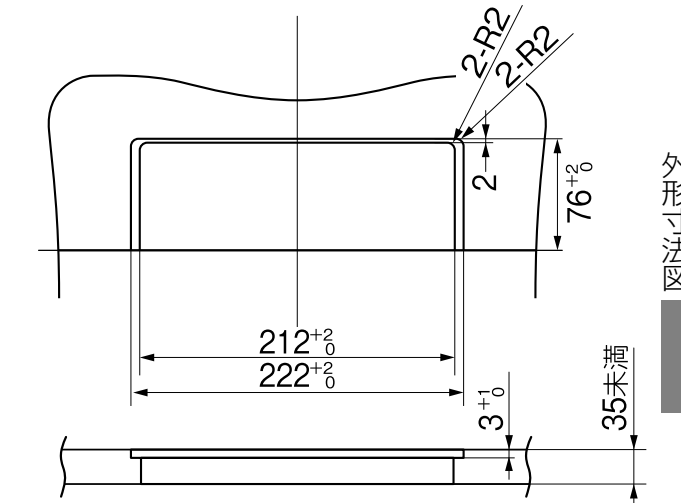
側面図

（KZ-F11Bの場合）

■操作部寸法図（単位：mm）

平面図

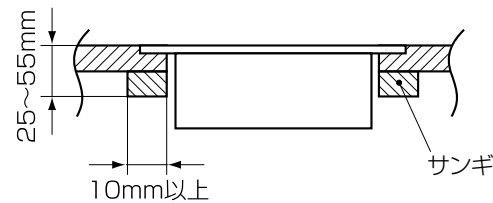
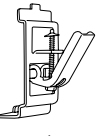
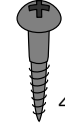
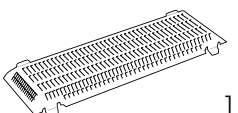
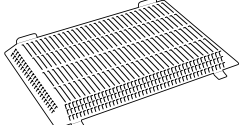
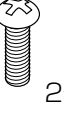
〈天板に取り付ける場合（8ページ）〉

〈側板に取り付ける場合（9ページ）〉

操作部開口穴

〈天板・側板の厚さが35mm以上の場合〉

〈天板・側板の厚さが35mm未満の場合〉

天板について

■充分な強度の天板を使う

●木材などに落とし込む場合

●天板の厚さが薄い場合はサンギ等で補強する

●フラッシュ構造（中空）に落とし込む場合

●必ず本体を支える位置に芯材がくるようにする。

25〜55mm 20mm以上 芯材

本体の設置

同梱部品の確認

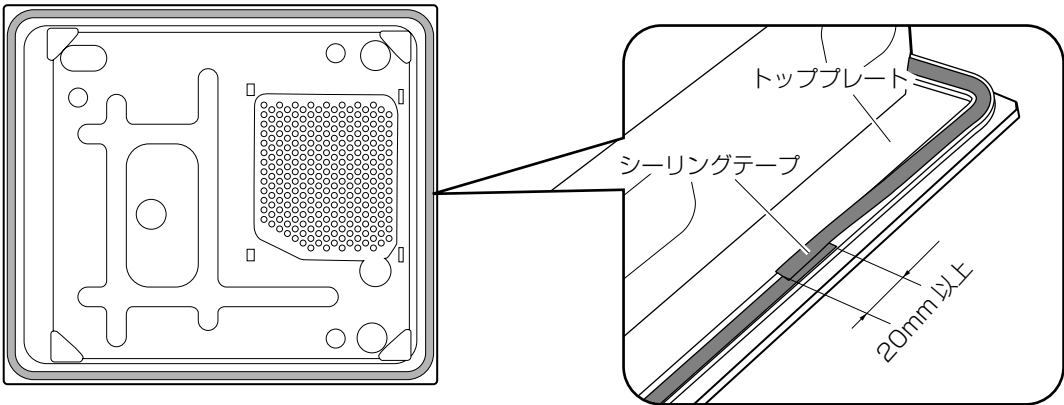
完成固定金具	パネル支持金具A	パネル支持金具B	シーリングテープ	ねじキャップ	丸木ねじ1	丸木ねじ2	なべPタイトねじ
2個	2個	2個	1本	2個	4個 φ3.5×16	6個 φ3.1×13	4個 M4×8

ナイロンクリップ	フィルター(天板設置用)	なべタップタイトねじ
6個	〈KZ-F12B · F12BL〉 〈KZ-F11B〉 1個	2個 M4×10

1 シーリングテープを貼って、防水処理を施す

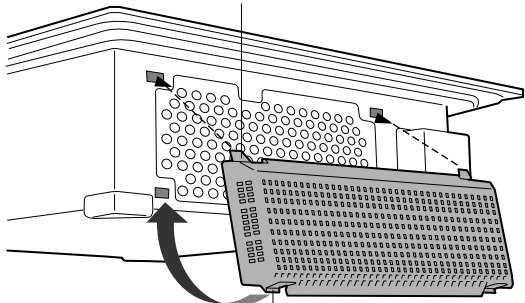
本体裏面

※イラストは KZ-F11B

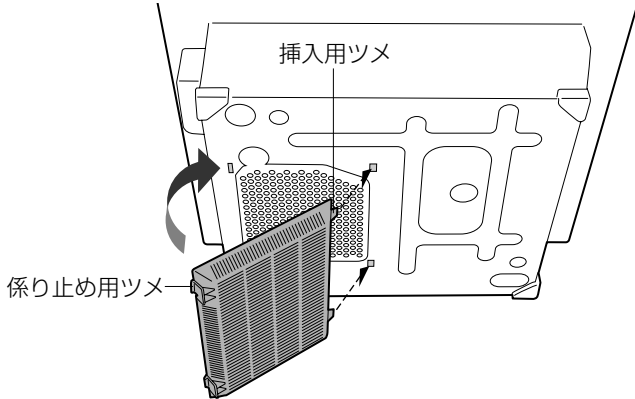
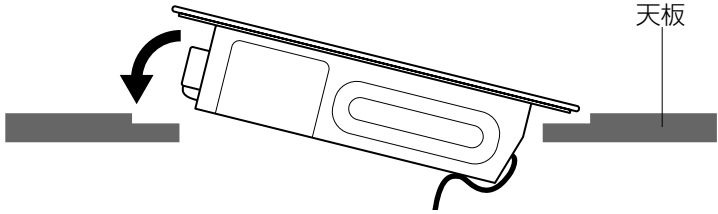
※テープの重なり代は
約 20mm 以上設けてください。

●テープの裏紙をはがして、トッププレート裏面の周囲に合わせて貼り付ける。

2 吸気口にフィルターを取り付ける
(テーブルに設置する場合のみ)

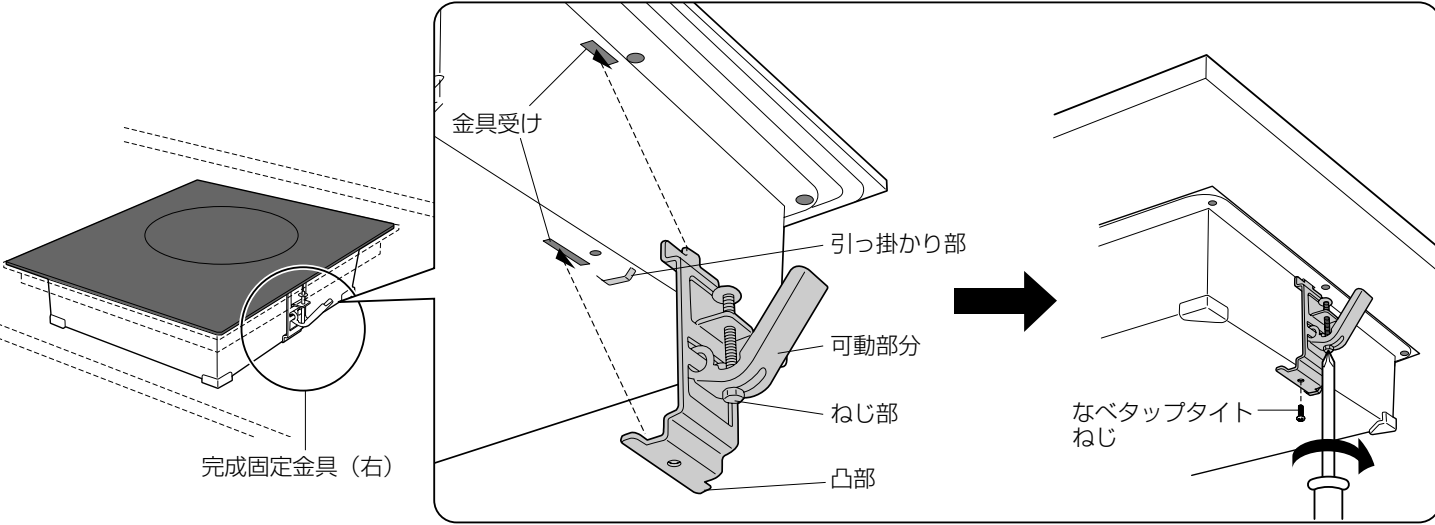
〈KZ-F12B · F12BL〉

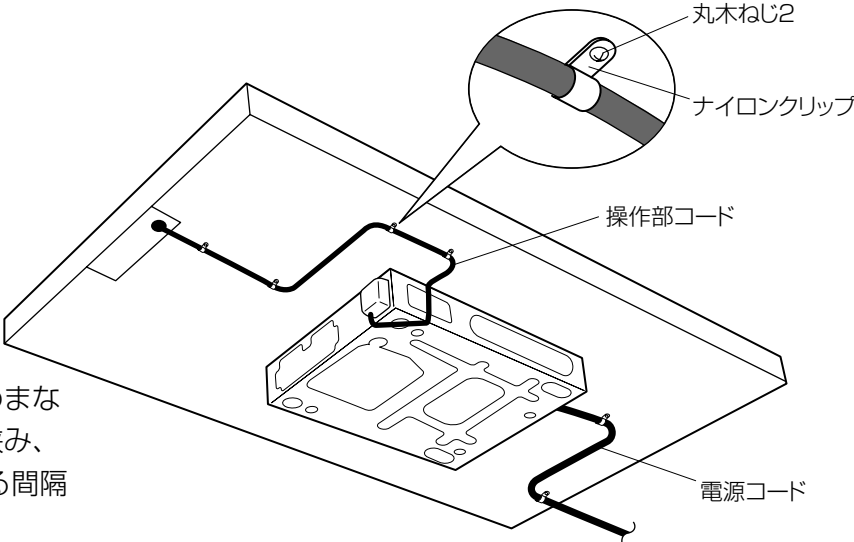
①挿入用ツメ (2か所) を差し込む。

②係り止めツメ (2か所) で固定する。

〈KZ-F11B〉

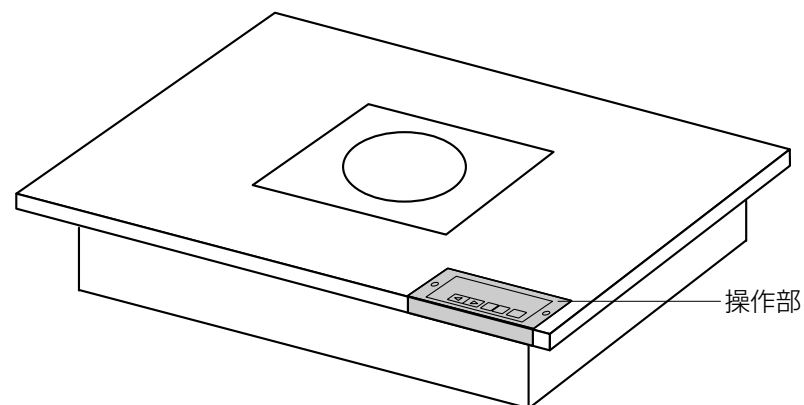
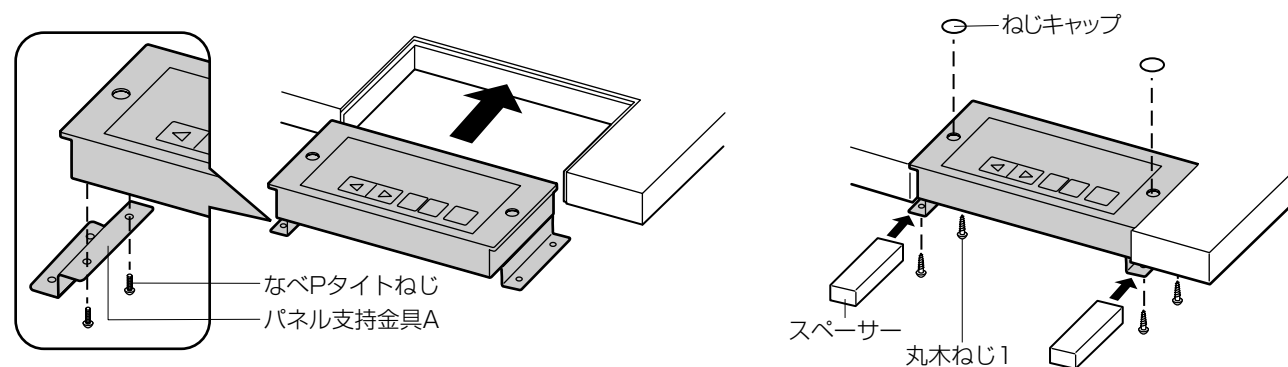
●左図と同様に取り付ける

3 トッププレートを天板の落とし込み部分にはめ込む

●天板に傷を付けないように包装用の段ボール箱を敷く。
●本体底面と天板の間に、電源コードを挟まない。（本体が浮いたり、コードが傷む原因）
●天板とトッププレートのすき間が均一になるよう設置する（作動確認後、トッププレート周囲をシーリングします）※シーリング剤を塗布してから本体に装着すると、トッププレート裏面にシーリング剤がまわり、修理時に外せなくなります。

4 本体を完成固定金具(左右2か所)で固定する

①完成固定金具のねじ部を緩め、可動部分を開いた状態にする。
②金具受け（2か所）に差し込み、凸部を引っ掛かり部にスライドさせて仮止めする。
③なべタップタイトねじで完成固定金具を取り付ける。
④ねじ部を締めて可動部分を天板に固定する。

5 配線を処理する

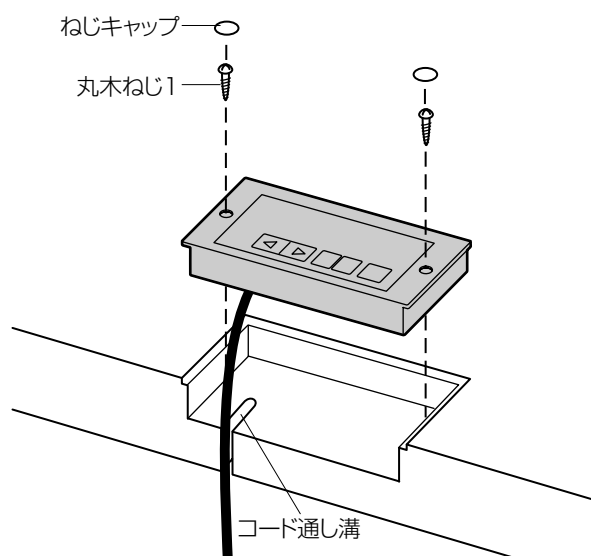
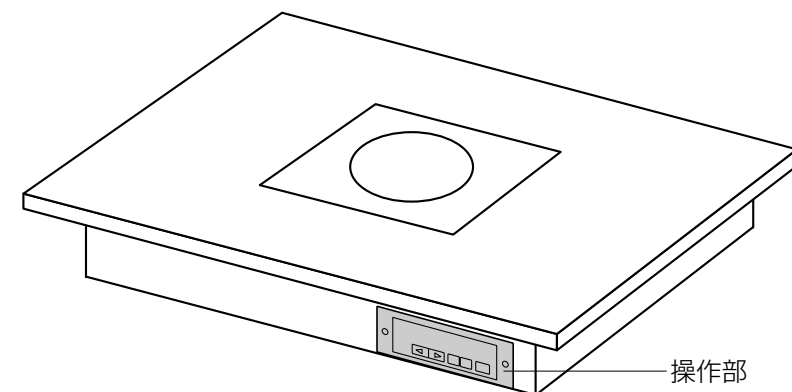
●電源コード・操作部コードがたわまないように、ナイロンクリップで挟み、丸木ねじ2で固定する。（固定する間隔の目安は、約50cm）

操作部ユニットの取り付け

■操作部ユニットは天板または側板に取り付けることができます⇒板の厚さにより、下の　方法で固定してください。

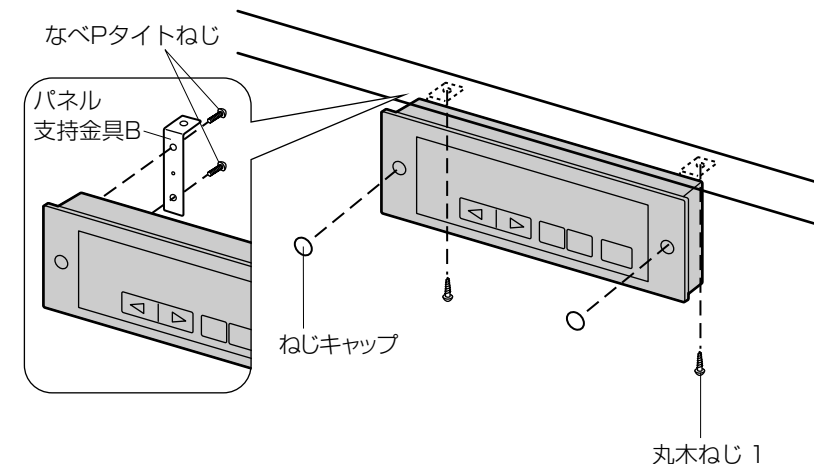
天板への取り付け

板の厚さが35mm未満のとき

①天板に操作部開口穴を設ける。（5ページ）
②操作部にパネル支持金具AをなべPタイトねじで取り付ける。（左右4か所）
③操作部を天板にはめる。
④パネル支持金具Aと天板下面のすき間にスペーサー（板など）を挟んで、高さを調節し、
　丸木ねじ1で天板に固定する。（4か所）
⑤操作部表面のねじ穴にねじキャップをかぶせる。（2か所）

板の厚さが35mm以上のとき

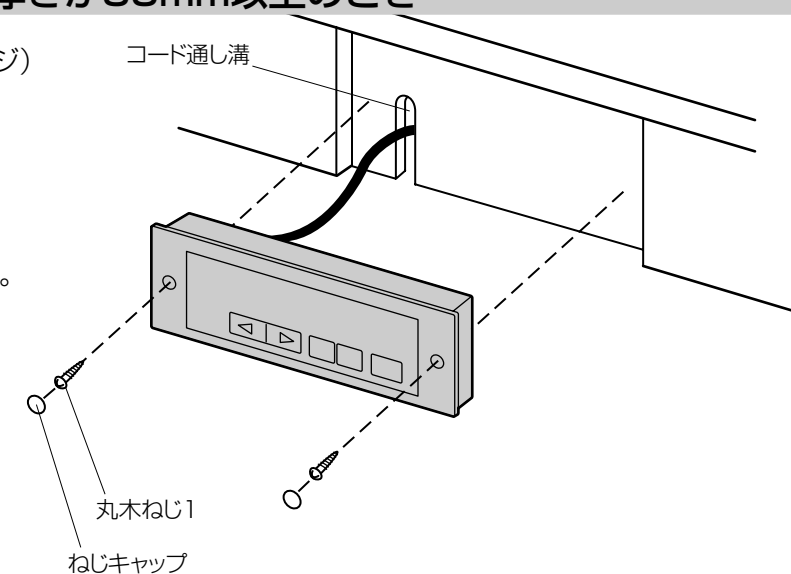
①天板に操作部開口穴を設ける。（5ページ）
②操作部コードをコード通し溝に通す。
③左右2か所を丸木ねじ1で固定し
　ねじキャップをかぶせる。（2か所）

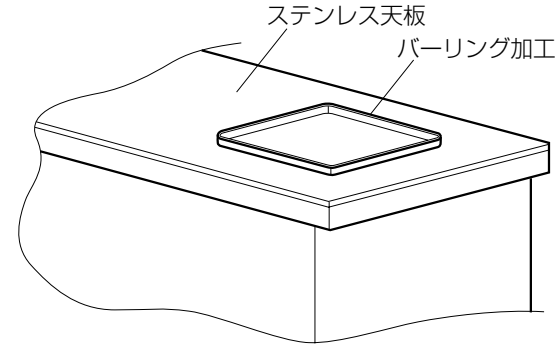
※なべPタイトねじ（4個）は使いません。
　丸木ねじ1は2個余ります。

側板への取り付け

側板がないとき

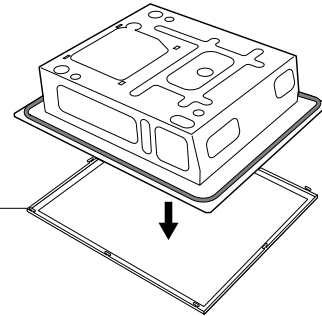
①操作部にパネル支持金具B
　をなべPタイトねじで取り付
　ける。（左右4か所）
②操作部を天板の裏面に丸木
　ねじ1で固定する。（2か所）
③操作部表面のねじ穴にねじ
　キャップをかぶせる。（2か所）

※丸木ねじ1は2個余ります。

板の厚さが35mm以上のとき

①側板に操作部開口穴を設ける。（5ページ）
②操作部コードをコード通し溝に通す。
③左右2か所を丸木ねじ1で固定し
　ねじキャップをかぶせる。（2か所）

※なべPタイトねじ（4個）は使いません。
　丸木ねじ1は2個余ります。

次のような場合は…

※バーリング加工を施したキッチン開口部には設置できません。

トッププレートが天板上面から飛び出すように固定する場合

トッププレートを保護するために、必ずプレート枠（あっせん品）を取り付けてください
(この場合の天板の厚みは、20～50mmにしてください)

- ●詳細はプレート枠添付の説明書をご覧ください。
- ●プレート枠はお買い求め先へお問い合わせください。

キッチンに設置する場合

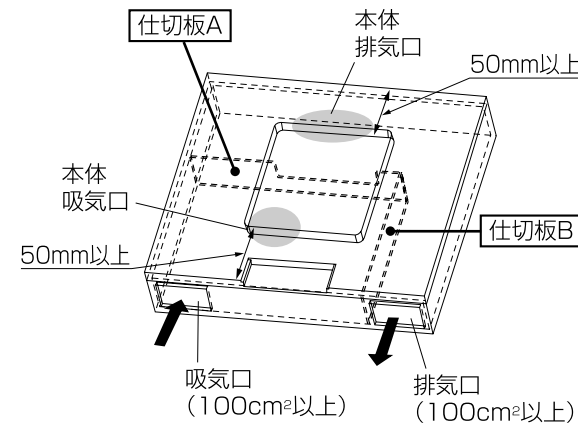
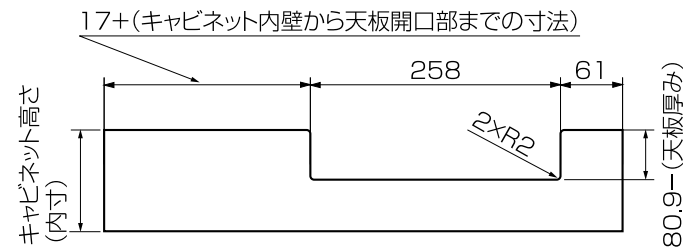
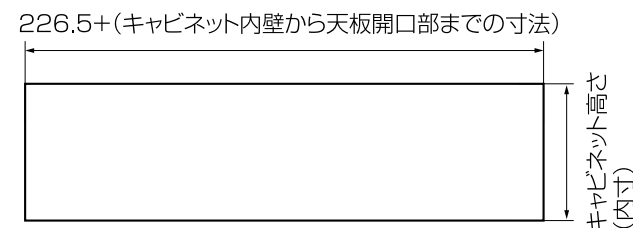
必ず仕切板を設置する

(本体内部の温度が上昇して、安全装置が働き、加熱を停止したり、故障の原因となります)

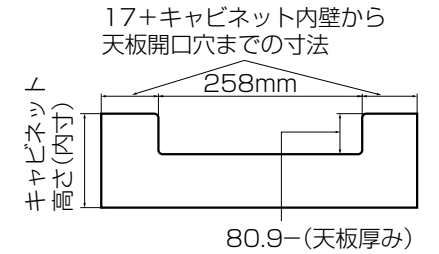
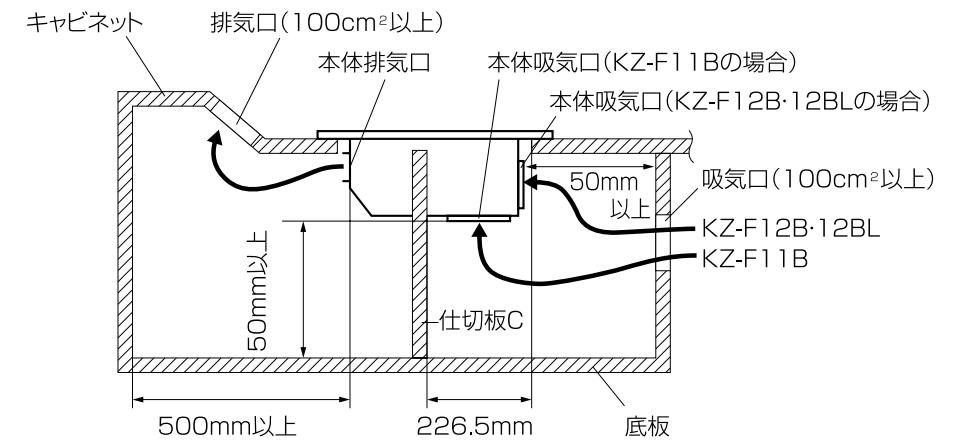
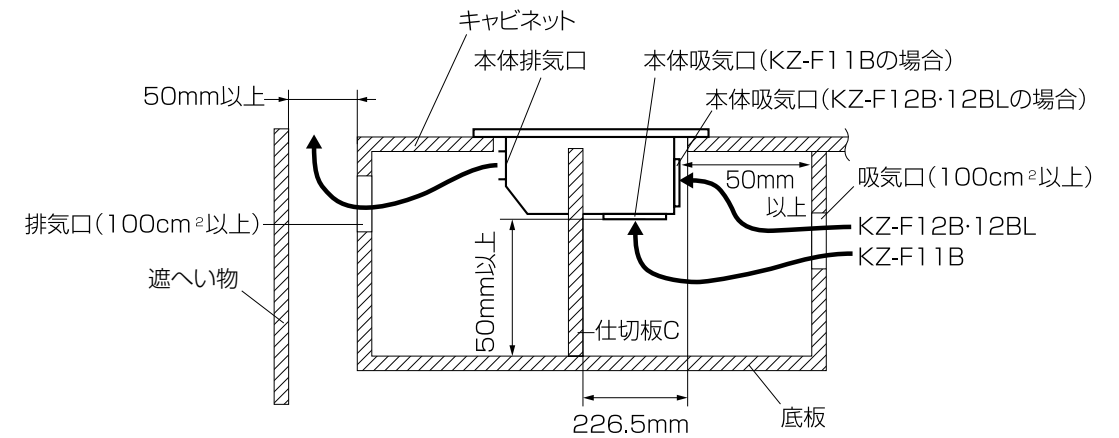
●キッチンに有効断面積100cm²以上の吸・排気口を設ける。
（ルーバー等の場合は、空間部分の合計で算出）

●本体の吸気・排気を遮へいしないように、本体の吸・排気口からは50mm以上のスペースを確保する。

■前吸気・前排気にするには

●L字型に仕切って、吸・排気を分離する。

■仕切板の形状

■前吸気・後排気にするには

●本体修理時に備えて、底板は取り外し可能にしてください。

■仕切板の形状（正面から見た図）

●キッチン天面に排気口を設ける場合

●キッチン後面に排気口を設ける場合

仕切板のすきま処理

■仕切板のすき間処理

〔例〕本体と仕切板Cの隙間を市販の
　　　ソフトテープ(発泡ウレタン等）で埋める。